

報告日 令和5年11月8日
報告回次 2日目

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	岩倉市			代表者名	久保田桂朗
担当者部署	総務部			連絡先電話番号	0587-38-5834
担当者役職	主幹	担当者氏名	小出 健二	連絡先E-mail	
住所	482-8686 愛知県岩倉市一丁目66番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	村上 文洋
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようになどころがよかったです等詳細に）	受講者アンケートにおいて、講演会全体の評価の設問で「たいへんよかった」が71.8%、「よかったです」が28.2%で評価する回答が100%であり、実施の目標でもある「DX推進の組織的気運の醸成」の設問でも95%以上が「デジタル化推進のモチベーションアップにつながった」と答えており、目的は十分に達成できた。
アドバイザーへの要望事項	引き続き、支援をお願いしたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和5年11月2日	講演(実地)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
			10時00分	12時00分	
				活動時間（分）	120
3-2. 派遣場所	会場名	岩倉市役所		最寄駅	名鉄岩倉駅
	所在地	愛知県岩倉市栄町一丁目66番地		最寄駅からの交通手段	徒歩

4. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good_practices/past_year_all_houkoku/

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数	
	職員（幹部職員含む一般職員）		
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果			
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	本市では、全般的にDXが進んでいるとは言えず、令和5年7月に「岩倉市行政手続デジタル化方針」を策定し、令和7年度末までに行政手続の原則オンライン化を目指しており、その中心的役割として、DX推進員を任命した。DX推進員が各所属の中心となって行政DXの推進をしてもらいたいと考えているが、職員ごとに知識や意識にバラつきがあるため、行政手続のオンライン化を始め、デジタル技術を活用し、業務改革・サービス改革を推し進められる職員を多く育成する必要がある。		
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	行政DXを推進する重要性を全職員が認識し、DX推進の組織的気運の醸成、その後、DX推進員を中心各担当課レベルでDXを推進し、結果として岩倉市全体でDXを推進していく。また、令和7年度末までに岩倉市の全ての手続きをオンライン化する。		
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	人口減少を引き合いに行政DXの必要性を説き、DXとは何か、DXに取り組むためのポイントを4つにわかりやすく整理し、全国、全世界の事例等を紹介しながら講演をしていただいた。		
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	今回の支援の第1段階の講演の目標であるDX推進の気運の醸成につながったことがアンケートから確認できた。		

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 現時点では成果物はないが、行政手続のオンライン化等、年度末までに一定の成果をあげていく	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートの集計結果は別添のとおり。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	令和7年度末までに岩倉市の全ての行政手続きをオンライン化する。また、デジタル技術の活用により、市民サービスの向上と内部事務の効率化を達成する。	

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

